

Frequently Asked Questions

CommandCenter® Secure Gateway



リリース 6.0

質問	回答
CommandCenter Secure Gateway (CC-SG)とは何ですか	<p>CC-SGは、データセンタ、ラボ、リモートオフィスに設置されたKVM、シリアル、電源制御デバイスにWebブラウザ経由またはCLIベースで統合的かつ安全にアクセスするための導入の容易なプラグアンドプレイのアプライアンスです。ラックマウント用のハードウェアと、VMware®上で動くバーチャルアプライアンスがあります。</p> <p>CC-SGは複数のアクセステクノロジーを統合し、データセンタやラボ内のIT機器、ソフトウェアアプリケーション、その他のソリューションへのリモートアクセス制御をシングルポイントから提供します。ラリタンのDominion®シリーズ、Paragon® II、PXインテリジェントPDU(電源タップ)やHP iLO、Dell® DRAC、IBM® RSA、IPMIなどの組み込み型サービスプロセッサ、RDP、VNC、SSH、Telnet、などのインバンドソフトウェアソリューションへのアクセスが可能です。Webブラウザのインターフェースを通じて、その他多くのシステムや機器へのアクセスが可能になります。</p>
どのようなCC-SGハードウェアオプションがサポートされますか?	<p>ラリタンは、中小規模のビジネスと、数千台のサーバやIT機器をもつ大規模なエンタープライズビジネスの両方に対応するために、複数のハードウェアバージョンを提供しています。CC-SG E1は大規模サイトと冗長構成のために電源の二重化が必要な環境を対象としています。CC-SG V1は、より小規模な環境でKVM、およびインバンドアクセスと電源管理機器を強力にサポートするアプライアンスです。</p>
CC-SGがインストールできる仮想プラットフォームはどれですか?	<p>CC-SGバーチャルアプライアンスは、VMware仮想マシンにインストールできます。詳しくはRaritan.co.jpサポートドキュメントの「CC-SG compatibility matrix」をご参照ください。</p>

質問	回答
<p>CC-SG はどのラリタン製品をサポートしますか？</p>	<p>CC-SG は、ラリタンの KVM-over-IP スイッチ Dominion KX II、KX III、KX II-101、KX II-101-v2 およびシリアルコンソールサーバ Dominion SX、リモートオフィス向けアプライアンス Dominion KSX II および Paragon II*を管理できます。また、ラリタンの Power IQ 電力管理ソフトウェアおよび PX インテリジェントラック電源管理ソリューションへの接続性を提供することで、集中的なリモート電源管理にも対応できます。</p> <p>*Dominion KX II または KX III 経由で Paragon II へのアクセスもサポートします。第一世代の Dominion KX は CC-SG6.0 ではサポート外となります</p>
<p>Dominion KX III を導入しましたが、CC-SG はどのバージョンを使えば良いでしょうか？</p>	<p>CC-SG のバージョン 6.0 以降をご利用ください。バージョン 4.x や 5.x は Dominion KX III をサポートしておりません。</p>
<p>CC-SG は第一世代の Dominion 製品をサポートしていますか？</p>	<p>CC-SG のバージョン 6.0 以降は第一世代の Dominion 製品をサポートしません。以下の製品サポート対象外です</p> <p>Dominion KX (DKX-xxx)、KSX (DKSXxxx)、KX-101 (DKX-101) Paragon および IP-Reach (IPR-xx)</p> <p>これらの製品は既に販売終了・サポート終了しておりますので、ユーザーの皆様には最新モデルへの買い替えを強くお勧めしております。</p>
<p>CC-SG は、ラリタンのその他の製品をどのように統合しますか？</p>	<p>CC-SG は、独自の強力な検索および検出テクノロジーを使用して、選択されたラリタンデバイスを特定し、接続します。CC-SG が接続、設定されると、デバイスの接続は透過的になり、管理が簡略化されます。</p>
<p>CC-SG は、ラリタン製品に接続されたサーバや IT 機器にどのように接続しますか？</p>	<p>CC-SG には 3 通りの接続モードがあります。ダイレクト、プロキシ、そして両方。ダイレクトモードは、ノードまたはポートにダイレクトに接続し、CC-SG にデータを通すことはしません。プロキシモードはすべてのデータを CC-SG 経由で送ることによってノードやポートに接続できます。「両方」は、CC-SG をダイレクトモード、プロキシモードの組み合わせで使えるように設定できます。</p>

質問	回答
<p>プロキシモードは、なぜ必要なの でしょうか？</p>	<p>プロキシモードは、すべてのデータを CC-SG 経由で送ることでノードやポートにアクセスできます。プロキシモードでは CC-SG に負荷がかかるため、接続が遅くなる場合があります。IT 機器やシステムへのユーザアクセスを CC-SG に集約したい場合はプロキシモードをお勧めします。プロキシモードをご利用の場合は、ファイアウォールの CC-SG TCP ポート 80、8080、443、2400 をオープンにしてください。</p> <p>注：インタフェースによっては、プロキシモードを利用するように設定しても「ダイレクトモード」しかできないことがあります。 iLO, RSA, DRAC, Web ブラウザ、VMware Viewer がそれに該当します。Microsoft や JAVA RDP インタフェースの場合はプロキシモードで使用できます。</p>
<p>CC-SG にはソフトウェア保守プログラムはありますか？</p>	<p>あります。ソフトウェアアップデートやラリタンの技術サポートへのアクセスを含むソフトウェア保守が CC-SG 購入後一年間は無償で提供されます。一年間を経過した後のサポートには、延長ソフトウェア保守を購入いただくことになります。ソフトウェアアップデートが継続して可能になるように、購入後一年経過する前に追加ソフトウェア保守をご購入ください。</p>
<p>CC-SG の新しいファームウェアへのアクセスは？</p>	<p>CC-SG のソフトウェア保守を更新されている場合は、ラリタンのホームページから最新のファームウェアリリースをダウンロードしてアップデートすることが可能です。（ログインが必要です）</p>
<p>CC-SG のバーチャルアプライアンスは複数の仮想サーバ上で動かすことができますか？</p>	<p>ソフトウェアは複数回インストールが可能ですが、複数のバーチャル CC-SG ごとに、動かすための個別のライセンスが必要になります。</p>
<p>2つのバーチャル CC-SG アプライアンスで、クラスタとして設定できますか？</p>	<p>できません。CC-SG バーチャルアプライアンスは、シームレスでパワフルな冗長化のために VMware の “high availability” と “fault tolerance” 機能を利用しています。</p>
<p>スマートフォンから CC-SG にアクセスできますか？</p>	<p>はい、できます。モバイル KVM クライアント (MKC) が搭載され、Apple モバイル機器からの KVM アクセスと電源制御が可能になります。</p> <p>MKC は Dominion KX II および KX III 経由のアウトオブバンドアクセスと DRAC、iLO、IPMI、RSA、VMware 仮想マシンに対する CC-SG からの電源制御をサポートします。さらに Power IQ で管理された PDU と Dominion PX もサポートします。</p>

質問	回答
<p>CC-SG はライセンス製品ですか？</p>	<p>はい。他の多くのソフトウェア製品と同様、CC-SG もライセンス製品です。CC-SG のライセンスは、ノード数で供与されます（次項参照）。ライセンスはラリタンのホームページ上のサポートセクション”Software License Key management”のページで管理できます。CC-SG の管理者は CC-SG 上のライセンスマネージャーで、ライセンス管理が可能です。</p>
<p>ノードライセンスとは何ですか？</p>	<p>CC-SG のライセンスは管理するノードの数で決まります。ノードは、CC-SG が管理する 1 システムまたは機器になります。たとえば、ラリタンの Dominion に接続されるサーバ、PC、ネットワーク機器がノードとしてカウントされます。</p> <p>ハードウェア、バーチャルアプライアンスともに購入時には 128 ノードライセンスが含まれています。システムの変更や拡大といったニーズに応じてライセンスの追加が可能です。</p>
<p>CC-SG は仮想サーバへのアクセスと管理をサポートしていますか？</p>	<p>サポートします。CC-SG に VMware 仮想化環境を追加することで、CC-SG から仮想マシン、仮想ホスト、および制御システムに接続できます。新しい仮想化機能には、(1)仮想化環境へのシングルサインオンアクセスの簡単なセットアップ、(2) 仮想マシンと仮想ホストに仮想電源コマンドを発行する機能、(3) シングルクリック接続によるトポロジビューが含まれます。CC-SG を VMware™環境と統合することで、Virtual Center ソフトウェア、ESX™サーバ、VMotion™機能などの機能をサポートできます。</p>
<p>CC-SG はブレードサーバへのダイレクト KVM アクセスをサポートしますか？</p>	<p>CC-SG は Dominion KX II および KX III 経由でブレードサーバのアクセスと管理をサポートします。CC-SG は、ブレードサーバとブレードを収納したシャーシへのアクセスを GUI で簡単に管理できます。</p>
<p>CC-SG は、ブレードシャーシ製品をどのように統合しますか？</p>	<p>多くのメーカーがブレードサーバを供給しており、そのタイプも多岐にわたりますが、CC-SG は Cisco, Dell, HP, IBM 製のブレードのモデルをサポートしています。CC-SG は複数の方法でブレードサーバを統合します。ラリタンの KVM スイッチ Dominion KX II または KX III を統合する、統合しない、いずれの方法でもブレードサーバをサポートします。</p> <p>加えて、RDP, SSH, VNC, といった他のアクセスタイプも設定が可能です。また CC-SG は HP iLO, RiLOE II, Dell DRAC、IBM RSA II といったブレードサーバの内蔵マネジメントカードも利用することができます。詳しくは、CC-SG や Dominion KX II および KX III のユーザガイドをご参照ください。</p>

質問	回答
<p>CC-SG の “クラスタ” とは何ですか？</p>	<p>CC-SG のクラスタは二台の CC-SG ハードウェアアプライアンスから構成されます。一台がプライマリ、もう一台がプライマリ機に問題があった場合にバックアップするセカンダリです。二台とも共通のデータをアクティブユーザとアクティブコネクションについて共有し、すべてのステータスデータは二台に複製されています。</p>
<p>バックアップのユニット用に追加ライセンスが必要ですか？</p>	<p>必要ありません。一度にアクティブなのは一台だけのため、セカンダリユニット用のノードライセンスは必要ありません。シングルライセンスのファイルは、クラスタ構成の各ユニットの Unit ID を使うことで生成できます。</p>
<p>CC-SG の “ネイバーフッド” とは何ですか？</p>	<p>CC-SG の “ネイバーフッド” は、企業の IT インフラにアクセス管理するニーズに応えるための 10 台までの CC-SG の集合体です。ネイバーフッドは大規模のシステムまたは地理的に分散した構成での運用効率を向上させるために CC-SG を分散させて導入することを可能にします。</p>
<p>他の CC-SG ネイバーフッドで管理されているサーバやデバイスをどうやってみつければいいですか？</p>	<p>直接 CC-SG ネイバーフッドによって管理されているノードをアクセスクライアントから探してインタフェースを立ち上げることができます。さらに、複数にまたがったネイバーフッドユニットを統合し、必要に応じて簡単で便利なアクセスを提供します。</p>
<p>クラスタとネイバーフッドを一緒に導入できますか？</p>	<p>もちろんです。CC-SG をクラスタ+ネイバーフッドの組み合わせ構成で導入することによって、性能が向上するだけでなく、自動フェイルオーバーを実現し、ダウンタイムを削減します。</p>
<p>ネイバーフッドはバーチャルアプライアンスでも設定できますか？</p>	<p>ハードウェアアプライアンスと同じ方法で設定が可能です。バーチャルアプライアンスとハードウェアを、一つのネイバーフッドで接続できます。</p>
<p>CC-SG のバーチャルアプライアンスを購入した場合、ハードウェアアプライアンスからの移行は簡単にできますか？</p>	<p>できます。このリリース 5.1 で、システム構成とデータベースが容易に移行できるようになりました。この場合も、両方のアプライアンスは同じファームウェアのバージョンでなければなりません。</p>

質問	回答
<p>CC-SG の新しいバージョンがリリースされたときに、そのバージョンにアップグレードできますか？</p>	<p>CC-SG のソフトウェア保守期間内のお客様は、CC-SG のアップグレード（新しいファームウェア）にアクセスが可能です。</p> <p>使用できるファームウェアに関する情報、ダウンロードファイルは、ラリタンの Web サイトで公開されています。</p> <p>アップグレードは、CommandCenter Secure Gateway クライアントのグラフィカルユーザインタフェースから行います。また、CC-SG アプリアランスの CD/DVD ROM ドライブもインストール/アップグレードに利用できます。</p> <p>安全なオペレーションと、最新のブラウザ、OS、機器のバージョンへのサポートを確実にするために、常に新しいバージョンにアップグレードされることをお勧めします。</p>
<p>CC-SG 用にいくつかのログインアカウントを作成できますか？</p>	<p>作成できるログインアカウントの数に制限はありません。</p>
<p>特定のユーザに特定ノードへのアクセスを割り当てることはできますか？</p>	<p>はい、管理者権限を持つユーザーであれば可能です。管理者は、ユーザーごと、またはグループごとに特定ノードを割り当てるができます。</p>
<p>CC-SG ではパスワードはどのように保護されますか？</p>	<p>パスワードは、MD5 暗号化（一方向ハッシュ）を使用して暗号化されます。これによってセキュリティが追加され、未承認ユーザーがパスワードリストにアクセスできなくなります。</p> <p>また、Active Directory、Radius、LDAP、TACACS+サーバを使用してユーザーをリモート認証できます。リモート認証を使用する場合は、パスワードは CC-SG への格納またはキャッシュがされません。</p>
<p>管理者が CC-SG データベースに新しいノードを追加し、それをユーザーに割り当てましたが、そのユーザーの [Device Selection] テーブルにはそのノードが表示されません。なぜでしょうか？</p>	<p>新たに追加されたノードは、ユーザーのノードテーブルに自動的に表示されます。テーブルを更新して新規割り当てノードを表示するには、[Refresh] ボタンをクリックします。</p>

質問	回答
<p>デバイスやユーザーの情報を CC-SG に追加するときは手動で行うのでしょうか？</p>	<p>いいえ、CC-SG ではインポート・エクスポート機能を搭載しています。CSV ファイルをインポートすることでデバイス、ノード、ユーザー、関連付け、PDU の構成プロセスを簡素化します。インポート・エクスポートできるファイルには以下のものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カテゴリーと要素のインポート・エクスポート ● ユーザグループとユーザーのインポート・エクスポート ● ノードとインタフェースのインポート・エクスポート ● デバイスとポートのインポート・エクスポート ● Power IQ® のインポート・エクスポートファイル
<p>CC-SG はどのバージョンの Java をサポートしていますか？</p>	<p>特定の CC-SG ファームウェアリリースに必要な JRE のバージョンについては、互換性マトリクスを参照してください。</p> <p>CC-SG 管理者は、CC-SG ユーザーが使用する JRE のバージョンを独自に設定することができ、その JRE バージョンへのハイパーリンクも表示できます。</p> <p>注：CC-SG の Java ベースの管理クライアントや、VKC や RSC などのラリタンのクライアントアプリケーションを使用するには、JRE が必要です。CC-SG の HTML ベースのアクセスクライアントを使用する場合は、JRE は必要ありません。</p>
<p>最近 Java にセキュリティの問題があるため、Java を使用するの不安です。どうすればよいでしょうか。</p>	<p>CC-SG のほとんどのユーザーは HTML ベースアクセスクライアントを利用しており、その場合 Java は必要ありません。管理者以外のユーザーは、クライアントをリモートシステムと機器へのアクセスに使用できます。</p> <p>また CC-SG の “Thick Client” も利用できます。これは Java ベースですがブラウザを立ち上げないため、ブラウザによる脆弱性を防ぐことができます。</p> <p>Microsoft の .NET ベースの Active KVM Client (AKC) や Dominion KX II や KX III および KSX II に使われている KVM クライアントは、Java を利用しません。OS が Windows の場合はこちらをお勧めします。</p> <p>Dominion SX に接続されたシリアル機器にアクセスするユーザーは、SSH クライアントを選択することができます。</p>

質問	回答
<p>CC-SG は、具体的にどのような変化を監視し、アラートを出力するのですか？</p>	<p>CC-SG は、CC-SG と管理対象ラリタンアプライアンス両方のユーザアクティビティ(ログイン/ログアウト、接続/切断)と構成の変化、および接続アプライアンスのステータスの変化をログに記録します。これらの情報は全て、SNMP または Syslog 経由でネットワーク管理システムまたはエンタープライズ通知システムに転送できます。</p>
<p>CC-SG は Power IQ と統合できますか？</p>	<p>できます。CC-SG は電源管理ソリューション Power IQ と多くの統合ポイントをもっています。一つめは、ノード、インターフェイス、アウトレット、デバイス情報といった Power IQ のデータを CC-SG に送り込むことで、両方のデータベースにデータを入力する時間を削減できます。また、CC-SG と Power IQ の間でインポート、エクスポートによるデータのやり取りが可能になり、迅速に簡単にデータの共有と同期を実現しました。</p> <p>また、CC-SG ユーザーはラリタンの PX やその他サードベンダーの PDU につながったノードの電力を Power IQ 経由で CC-SG のクライアントを離れることなく管理することができます。</p>
<p>CC-SG と現在使用中の Paragon と共存可能ですか？</p>	<p>可能です。Paragon II を Dominion KX II または KX III に接続して KX II や KX III をコネクテッドデバイスとして設定してください。詳細は Paragon II のユーザガイドを参照してください。</p>
<p>CC-SG の管理対象ラリタンデバイスにログインしているユーザはどのように確認できますか？</p>	<p>CC-SG は、デバイスにログインしているユーザのリストを表示し、アクティブユーザレポートには、ノードに現在アクセスしているユーザが表示されます。CC-SG GUI のデバイスツリービューでは、現在アクセスされているデバイスが太字で表示されます。また、太字のノード名と太字のノードインタフェース名は、ユーザが現在アクセスしていることを示します。</p>
<p>CC-SG では複数のデバイス画面を表示できますか？表示方法も教えてください。</p>	<p>多数のデバイスが CC-SG に接続されている場合は、適切なアクセス権限が割り当てられているユーザは、画面をスクロールして同時に表示できます。</p>
<p>SSL 暗号化は内部的(LAN)ですか、外部的(WAN)ですか？</p>	<p>両方です。セッションは LAN/WAN などのソースに関係なく暗号化されます。</p>
<p>監査/ロギング機能は、誰が電源プラグをオン/オフしたかまで追跡できますか？</p>	<p>できます。直接的な電源スイッチオフはログに記録されませんが、CC-SG GUI による電源のオン/オフは監査証跡に記録され、監査証跡レポートで確認できます。</p>

質問	回答
CC-SG は証明書署名要求をサポートしていますか？	しています。CC-SG で[Setup]の下の[Security Manager]にアクセスしてください。[Certificate]タブで、証明書署名要求 (CRS) を作成して認証機関に送付してデジタル ID 証明書を申請し、自己署名証明書を生成するか、証明書やプライベートキーをインポート、エクスポートできます。
CC-SG は仮想メディアをサポートしていますか？	しています。CC-SG は Dominion KX II や KX III などの KVM-over-IP との連携で仮想メディアをサポートします。仮想メディアを使用するには、仮想メディア対応の CIM (コンピュータインタフェースモジュール) も必要です。
CC-SG は Firefox® や Chrome をサポートしますか？	サポートします。CC-SG がサポートする WEB クライアントについてはラリタンにお問い合わせください。
CC-SG が統合できる IT マネジメントアプリケーションやクライアントはありますか？	できます。ラリタンはそのために WEB サービス API (WS-API) をオプションとして提供しています。これによりカスタマイズしたクライアントアプリケーションから CC-SG、接続されたノード、その他の CC-SG の機能にアクセスできます。
CC-SG の RAID ドライブに問題があった場合、新しいドライブに交換できますか？	はい。保証期間内なら可能です。RAID ドライブで問題が起こる場合は CC-SG の管理者ガイドに、詳細とトラブルシューティングをご参照ください。スクリーン上の診断メニューから問題の特定が可能です。ご不明な点は、ラリタンのテクニカルサポートにご相談ください。
CC-SG は AES-256 をサポートしますか？	サポートします。AES-256 は管理画面から選択できます。AES-128 は初期設定になっています。
CC-SG の試用版はありますか？	<p>あります。VMware Player または ESX, ESXi 上で動く CC-SG の試用版があります。ラリタン販売代理店経由で CC-SG16-VA をご注文いただくか、ラリタンのホームページからダウンロードできます。</p> <p>この試用版は、以下 2 点を除いてすべての機能を満たしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インターフェイスのサポートは 16 まで ● CC-SG WS-API のオプションはサポートしません
KVM クライアントの Windows バージョンはありますか？	あります。CC-SG には AKC (Active KVM Client) があり、JAVA のかわりにマイクロソフトの .NET テクノロジーをつかっています。CC-SG の管理者もアクセスクライアントも AKC をサポートします。クライアント PC は Windows XP®, Vista®, Win7/8 の OS で動きます。

質問	回答
<p>CC-SG を利用するためにクライアントマシン側で必要なアプリケーションは何ですか？</p>	<p>CC-SG はクライアント側に余分な負担は一切かけないように設計されています。CC-SG はすべてのクライアントアプリケーションを保持し、提供しています。つまりそれは、クライアントデバイスの維持にほとんど何も必要しないということです。</p> <p>ただし、例外として、CC-SG アドミンクライアントまたは VKC といったラリタンのラリタンコンソールアプリケーションを使う場合、Java(JRE)がインストールされている場合は、注意する必要があります。</p> <p>JRE は CC-SG の web ベースのアクセスクライアントまたは Dominion KX II や KX III で使用されている .NET ベースの AKC の使用を必要としません。</p>
<p>Windows 7、Windows 8 や Windows 2008 のサーバをサポートしますか？</p>	<p>サポートします。CC-SG は Windows 7、Windows 8 や Windows 2008 サーバで動くターゲットをサポートします。これらの OS によるクライアント PC もサポートします。Windows 7 については、Home Premium、Professional、Ultimate いずれのバージョンもサポートします。</p>
<p>CC-SG は IPv6 をサポートしますか？</p>	<p>サポートします。IPv4/IPv6 デュアルスタックモードになります。CC-SG バージョン 5.4 .0 は IPv6 単独モードはサポートしません。デュアルスタックモードで可能になります。初期設定では IPv4 のみです。IPv6 サポートは、今後のリリースで実現の予定です。IPv6 を使用する際は、リリースノートや管理者ガイドを参照してください。</p>
<p>CC-SG がサポートする SNMP のバージョンは？</p>	<p>SNMP のバージョン 3 をサポートします。</p>
<p>CC-SG の機能に関する情報はどこで得られますか？</p>	<p>ラリタンのホームページ「サポート」セクションから CC-SG 管理者ガイドとオンラインヘルプなどにアクセスできます。</p> <p>探したい項目を素早く検索できるオンラインヘルプも便利です。</p>

質問	回答									
<p>使用している製品がCC-SGの第一世代のCC-G1ハードウェアプライアンスであるかどうか、どのように確認できますか？</p>	<p>2006年5月より前にCC-SGを購入、受け入れしている場合は、お持ちの製品はCC-SG G1ハードウェアです。2006年5月より後に製品を受領し、ハードウェアのモードが不明な場合は、次の3つのいずれかの方法でご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シリアル番号を調べる 本体下部に記載されているシリアル番号を探してください。シリアル番号が「XG」から始まっているモデルはG1です。 ・管理クライアント GUI を使用する CC-SGの管理インタフェースにログインします。 [Administration] ドロップダウンメニューから [Configuration] オプションを選択します。 [SNMP] タブを選択します。 [System Description] 領域にハードウェアモデルが表示されます。 ・診断コンソール CLI を使用する SSH クライアント (PuTTY など) のポート番号 23 から CC-SG IP アドレスに接続します。 ステータスアカウントでログインします。 [Model] フィールドの [System Information] という領域に CC-SG-G1 と表示されます。 									
<p>CC-SG V1 か CC-SG E1 を使用していて、プロセッサが AMD か Intel® か確かめる方法がありますか？</p>	<p>まず、V1 モデルか E1 モデルかを GUI から確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Web ブラウザに URL <YOUR_CC-SG_IP_address>/admin> と入力して Admin クライアントにログインします 2. トップメニューの Administration>Configuration を選択します 3. SNMP タブを選択します 4. “Update Agent Configuration” ボタンの上に、CC-SG のファームウェアとハードウェアのモデルが表示されます。 <p>上記のモデル特定は、コマンドラインインタフェースからも可能です</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ポート番号 23 を使って、CC-SG の IP アドレスに SSH セッションをひらく 2. “status” としてログインする 3. [Model] フィールドを見る <p>いずれの場合も、ハードウェアとプロセッサの関係は以下になります。</p> <table border="1" data-bbox="597 1629 1481 1724"> <thead> <tr> <th>ハードウェア</th> <th>AMD</th> <th>Intel</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CC-SG E1</td> <td>CC-SG E1-0</td> <td>CC-SG E1-1</td> </tr> <tr> <td>CC-SG V1</td> <td>CC-SG V1-A</td> <td>CC-SG V1-1</td> </tr> </tbody> </table>	ハードウェア	AMD	Intel	CC-SG E1	CC-SG E1-0	CC-SG E1-1	CC-SG V1	CC-SG V1-A	CC-SG V1-1
ハードウェア	AMD	Intel								
CC-SG E1	CC-SG E1-0	CC-SG E1-1								
CC-SG V1	CC-SG V1-A	CC-SG V1-1								